

民間住宅の耐震診断・耐震改修費を助成しています

- 耐震診断**
- 対象 町内にある木造住宅で①と②に該当する住宅
 - ①所有者が自ら居住している、一戸建ての住宅または併用住宅
 - ②昭和56年5月31日以前に工事着手した住宅
 - 助成額 診断に必要な費用の3分の2以内の額(千円未満切捨て)上限6万円
- 耐震改修**
- 対象者 次の①～③に該当する住宅を所有し、自ら居住している人
 - ①町内にある二戸建てまたは併用の木造住宅
 - ②昭和56年5月31日以前に工事着手した住宅
 - ③耐震診断の結果、上部構造評点 ≥ 1.0 未満と判定された住宅
 - 助成額 耐震改修工事に必要な費用の23%以内の額(千円未満切捨て)1棟あたり上限80万円
- ※注意事項 事前着手は認めていません。申請する場合は必ず事前に相談してください。

■問合せ
建設課 電話76・3942

第一印象で差をつける！オトコ前講座

- 対象 町内在住・出身の独身男女
- 日時 6月16日(日)
9時30分～15時30分
- 会場 役場本庁舎2階大会議室
- 内容 出会いで成功するポイント
講師 西田千佳子さん(ソウル 代表)
定員 男女各8名
- 問合せ
飯南町縁結び支援センター
電話76・2213



縁結び支援センター
小川恵美子

あなたの幸せの一步を応援します 縁結び支援センター

縁結び支援センター支援員の小川恵美子です。

町では、独身男女の結婚と定住促進を進めることを目的に、平成27年4月に「縁結び支援センター」を住民課内に設置しました。町内9人の方で構成される「ご縁の会」の「ご縁サポーター」の皆さんと一緒に、出会いのきっかけづくりをしています。

「独身男女の出会いの場」として、年間、お引合せを40～60件、婚活イベントを3～4回、独身男性のための婚活セミナーを1～2回開催。

結婚を望まれる方は多いと思います。でも「自分で出合いを探すのはちよつと…」と躊躇されている人が多いのも現実。結婚したいと相談に来られる人、イベントになんとなく参加してみても結婚に意欲がわいてきたという人、幸せをつかもうと頑張る皆さんを、私たちが精一杯応援します。

まずは、気軽に話してください。

経済センサス基礎調査にご協力を願います

全国の全ての企業・事業所を対象に実施します。

飯南町では、6月1日から9月30日の期間に調査員が企業・事業所を回り、一部の事業所に調査票を配布します。ご協力をよろしくお願い致します。

■問合せ
企画財政課 電話76・3941

農業加入者募集

農業者年金は、農業者の老後の生活の安定などを目的とした、農業者だけが加入できる、積立方式の「農業者のための年金」です。

- 加入要件
- ・年間60日以上農業に従事
 - ・国民年金の第1号被保険者
 - ・60歳未満の人

農業経営者をはじめ、自分名義の農地を所有していない農業者や、配偶者、後継者など家族農業従事者も加入できます。

■問合せ
農業委員会 電話76・2214

武名ヶ平登山道整備

地域の宝を守りたい

地元の有志が、武名ヶ平山頂への登山道をおよそ半年かけて整備しました。瀬戸山城から続く登山道の草刈りをはじめ、登山者を励ますための手作り看板や登坂ロープなどを設置。作業の中心となった門脇勝二さんは「最近では町外からのお客さんが多いが、まずは、地元の方に地域の宝を知ってもらいたい」と話していました。

武名ヶ平山は瀬戸山城の奥にそびえる標高724mの山。戦国時代、毛利元就が赤穴氏を攻めるための陣を敷いたとされ、山頂を中心に当時築かれた石垣の跡が今でも無数に残っています。

ま ちづくり講演会を開催します



藪谷 浩介さん
(株)日本総合研究所 主席研究員

『里山資本主義』の著者である藪谷浩介さんをお招きします。

当日は、飯南町で「森林資源活用による林業の魅力づくりプロジェクト」を進める竹本吉輝さん(株式会社トビムシ代表取締役)との対談も。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

日時 6月19日(水)18時～20時

会場 中山間地域研究センター大会議室

■問合せ
地域振興課 電話76・2864



作業を担った赤名地区の有志の方々



「もうすぐもぐもぐタイム」の看板

ま ちを元気に！ 地域おこし協力隊

飯南町内の様々な地域課題に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介。

今月は、志津見地区を担当する栃木健吾隊員の活動報告です。



ひとつひとつ丁寧に手作りにしています

地域おこし協力隊志津見地区担当の栃木健吾です。一昨年7月に家族4人で移住し、今年の7月で3年目に入ります。子供達は自然の中ですくすく成長してくれています。地域の皆さまにも本当に良くしてくいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。



志津見産小豆でつくった大判焼

加工品開発が主な仕事で、昨年10月から大判焼きの販売を始め、はや半年以上が経ちました。

たくさんのお客様に笑顔になっていただけの大判焼きを提供できるように美味しさを追及していきます。

毎週水曜日にうぐいす茶屋で販売しています。餡には志津見産小豆を使用していますが、収量が少なかつたため、あと少しでなくなります。

将来的には、全量地元産小豆で大判焼きを作りたいと思っています。志津見の名物を目指して頑張ります。